

星の広場



〒488-0883尾張旭市城山町長池下4517番地1
TEL 0561-52-1850 FAX 0561-52-1851

エレベーターが1月6日～1月11日まで工事で停止します。
8階天体観測室へは7階から階段で上がってください。



2026年 1月

1月の観望天体

「巨大ガス惑星」木星のガリレオ衛星

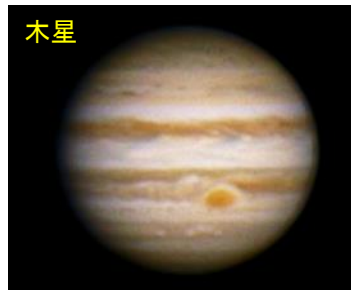
夜空には「真夜中の明星」と呼ばれる木星が、冬の1等星に囲まれてひときわ明るく輝いています。

木星は、太陽系5番目の惑星です。太陽系の中でいちばん大きく、直径は地球の約11倍、重さは約318倍もあります。木星は水素やヘリウム、アンモニアなどの厚い大気におおわれている「巨大ガス惑星」です。望遠鏡では大気複雑な動きによってできるしま模様を観察できます。赤褐色に見える部分を「縞(ベルト)」、縞と縞の間の白い部分を「帯(ゾーン)」といいます。赤く丸い「大赤班」も見られるかもしれません。

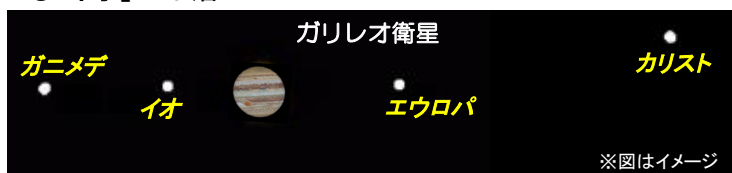
木星には多くの衛星が見つっていますが、特に大きく明るい4個の衛星は、ガリレオ・ガリレイが発見したことから「ガリレオ衛星」と呼ばれます。木星のいちばん近くを回っている「イオ」には活

火山があります。イオの外側の「エウロパ」は氷でおおわれています。「ガニメデ」は太陽系でいちばん大きな衛星です。いちばん外側を回る「カリスト」には巨大なクレーターが見られます。

木星



太陽からの距離	約7億8000万km
公転周期	約12年
自転周期	約10時間
赤道直径	約14万2000km
衛星の数	95個(2023年)



※図はイメージ

1月の夜間観望会

日曜日 18:00～19:00

※夜間観望会は「スカイワードあさひ星の会」が運営します。
※小中学生は保護者と一緒に来てください。
※天候や機器の整備等で中止する場合があります。
スカイワードあさひに16時以降にお問い合わせください。

開催日	主な観望天体
4日	月齢15の月、木星、土星、天王星 など 東の空に丸い月と木星が昇ってきます。
11日	木星、土星、天王星、海王星、M45 など 天王星は太陽系7番目の惑星です。水色に見えます。
18日	木星、天王星、M45プレアデス星団 など プレアデス星団は若い星の集団で、肉眼でも見えます。
25日	月齢6の月、冬のダイヤモンド、木星 など 6つの1等星がつくる大きな六角形です。

1月の太陽観望会



黒点やプロミネンスなどの太陽活動をH α フィルター太陽観測専用望遠鏡で観察しましょう。

火・土・日曜日、祝日
3日(土)・13日(火)は休み

10:00～12:00
13:00～15:00



プロミネンス
黒点

星の会会員撮影

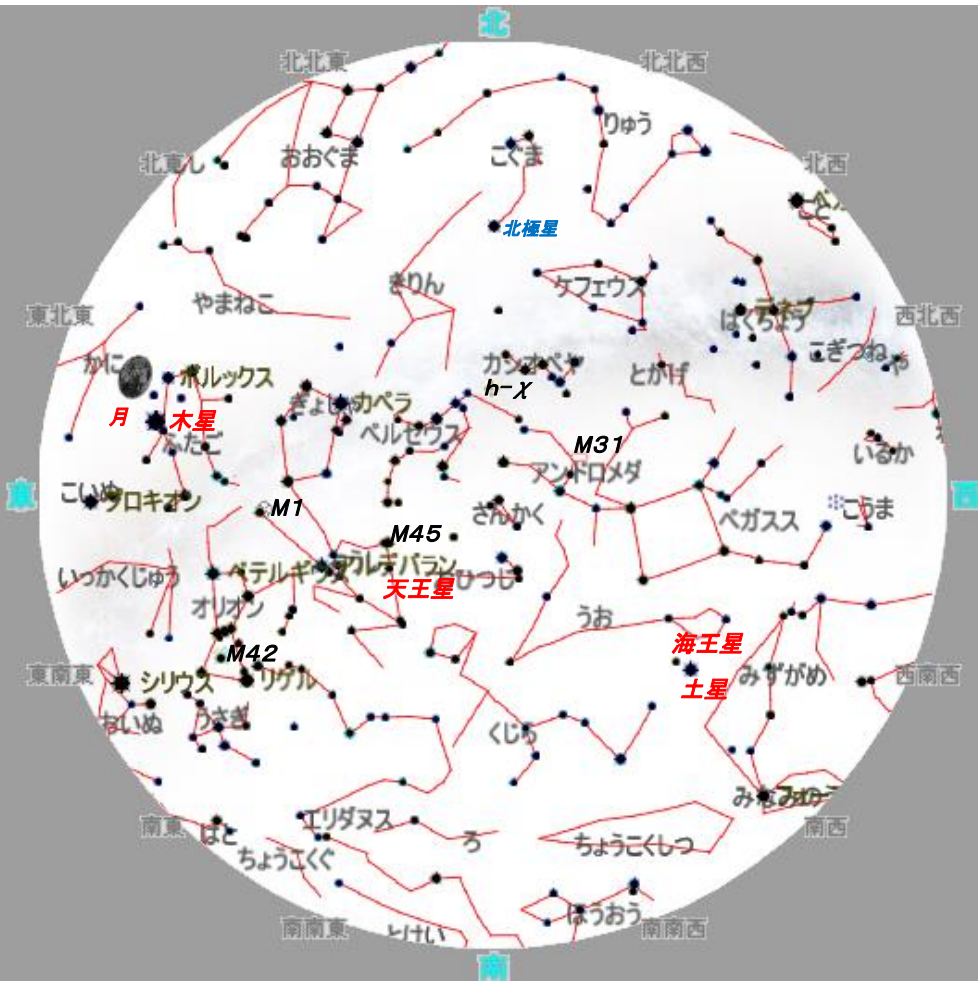
1月の星空

2026年1月4日 午後7時

1月の惑星

- 水星 明け方の東の空
- 金星 夕方の西の空
- 火星 見られません
- 木星 宵の東の空
- 土星 宵の西の空
- 天王星 宵の南の空
- 海王星 宵の西の空

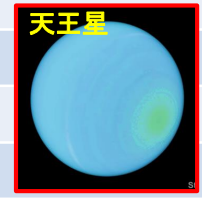
水星は明け方の東の空、しだいに高度を下げ、1月21日に外合します。
 金星は1月6日に外合し、1月末には夕方西空低く見られるようになります。
 火星は1月10日に合となるため、太陽に近くて見られません。
 木星は1月10日に衝となり、日暮れとともに東の空に上がってきます。
 土星は宵に西空低く輝いています。
 天王星は宵の南の空で観望好期が続いています。
 海王星は宵の西空で土星と並んでいます。



日	曜	月齢	1月の主な天文現象
1	木	12.4	(元日)
2	金	13.4	
3	土	14.4	満月
4	日	15.4	地球が近日点通過 しぶんぎ座流星群が極大
5	月	16.4	(小寒)
6	火	17.4	金星が外合
7	水	18.4	
8	木	19.4	
9	金	20.4	
10	土	21.4	火星が合 木星が衝
11	日	22.4	下弦の月
12	月	23.4	(成人の日)
13	火	24.4	
14	水	25.4	
15	木	26.4	

しぶんぎ座流星群
 三大流星群の一つ、毎年多くの流星が流れるため注目されます。極大は4日の午前6時ごろです。しぶんぎ座は現在はありません。放射点はりゅう座です。

日	曜	月齢	1月の主な天文現象
16	金	27.4	
17	土	28.4	
18	日	29.4	
19	月	0.7	新月
20	火	1.7	(大寒)
21	水	2.7	水星が外合
22	木	3.7	
23	金	4.7	
24	土	5.7	
25	日	6.7	
26	月	7.7	上弦の月
27	火	8.7	
28	水	9.7	
29	木	10.7	
30	金	11.7	
31	土	12.7	



4日 地球が太陽にいちばん近づくと日
 太陽を回る地球の軌道はほんの少し楕円です。そのため、太陽との距離は一定ではなく、1月上旬にいちばん近づき、7月上旬には最も遠くなります。今年の近日点は1月4日、遠日点が7月7日です。